

KG神奈川ゆる登山の会報告：第78回 浦賀・千代ヶ崎砲台跡

開催日：2026年2月14日（土）

参加者（卒年、敬称略）松本喜代郎、永田淳、梶田誠三、ジェイ・バハット、橋本省子、山本健夫、島下静之介、佐藤義廣、橋本史郎、武田陽次、田中敏恵、中井義康、高畠均、西山国彦、小西宏幸、近藤信彦、井上順三、小山欽一郎、百々有之、不破薫、所博之、中村文郎、上西武彦、柳澤剛、松本邦康、田中康弘（計26名）
（下線の方は初参加の方です）

今回は、京急浦賀駅に集合して、江戸時代後期に平根山に築かれた台場に、明治時代に陸軍が建設した、東京湾要塞の一つ「千代ヶ崎砲台」跡を訪れました（2022年に訪れた猿島砲台跡も東京湾要塞の一つです）。地表から6m低い、すり鉢のような胸壁に大砲を隠したとか、その砲座の地下に弾薬庫や兵隊の居住区を作ったり、雨水を集水・ろ過して生活用水として利用したり、一つ217kgの砲弾を滑車やレールを使って運搬したなどの説明をボランティアガイドの方から興味深くお聞きました。

浦賀駅からの途中、浦賀ドックを横目に、源氏の再興を祈願して勧請された西叶神社、昔ながらの浦賀の渡し、太平洋戦争終了後、引揚船が着岸した陸軍棧橋などに立ち寄りました。

帰路は浦賀が江戸時代に回船問屋として栄えた街並みを通って、御用林を抜けて、京急久里浜駅に到着、有志で中華居酒屋で懇親しました。朝から陽が差して、風もなく穏やかな一日を歩いて、歩いて、歩いて、歩きました。



次回のお知らせ：3月7日（土）相模原・雨乞山（河津桜鑑賞）JR横浜線橋本駅AM9:15集合